

ポスター発表

会場 D号館 2階 D21~23 講義室 (P1~P3)

コアタイム 27日 11:00~12:00 28日 11:00~12:00

優秀ポスター賞表彰式 28日 13:30より D22(P-2)会場 (予定)

【P1会場：学生会員】

- P101 静岡県で大量発生しているシズオカコヒゲクロバネキノコバエ *Epidapus* sp.の種同定と雌の屋内飛来行動
○小林雅之¹・須島充昭²・西東力¹・田上陽介¹(静大農・応用昆虫¹・東大・総合文化²)
- P102 形態情報を残すための、ササラダニ類の非破壊的 DNA 抽出法
○太田藍乃¹・島野智之²・唐沢重考³・原田洋⁴・中村達夫¹(横浜国大・環境情報¹・宮教大・EEC²・福岡教育大³・横浜国大・教育人間⁴)
- P103 コバネヒシバツタ (直翅目：ヒシバツタ科) の分類と新属新種のヤドリバエ (双翅目：ヤドリバエ科) による寄生
○高橋元¹・畠洪²・阿部芳久¹(九大院比文¹・九大²)
- P104 ナミハンミョウとその近縁種の分子系統と系統地理
○辻かおる¹・堀道雄¹・曾田貞滋¹(京大院理・動物生態¹)
- P105 ジャガイモヒゲナガアブラムシの発育・増殖における地域個体群間差異
○菊池孝伸¹・白石達也¹・村井保¹(宇都宮大農・応昆¹)
- P106 東南アジアで顕在化している *Thrips parvispinus* の害虫としての生態的特性
○佐久間恵美¹・渡邊快樹¹・村井保¹(宇大・農・応昆¹)
- P107 有機栽培と慣行栽培水田の生物群集に与える影響
○重藤貴志¹・佐藤智¹・安田弘法¹(山形大・農¹)
- P108 栄養卵が進化した要因
○鈴木紀之¹・川津一隆¹・大澤直哉²・西田隆義¹(京大院・農・昆虫生態¹・京大院・農・森林生態²)
- P109 ツヤアオカメムシの通常系統および赤色変異系統の性質
○鈴木翔¹・野村昌史²・清水喜一³(千葉大園・応用昆虫¹・千葉大院園・応用昆虫²・千葉農林総研³)
- P110 オオタバコガ終齢幼虫にみられる色彩多型の適応的意義
○山崎梓¹・藤崎憲治¹(京大院農・昆虫生態¹)

- P111 アブラゼミオスの同種・他種の鳴き声に対する反応の違いについて
 ○遠藤暢¹・大澤直哉¹(京大院農・森林生態¹)
- P112 復元庄内ホタル水路の生物相・微環境とヘイケボタルの生息密度との関係
 ○奥村知祥¹・藤山静雄¹・上條慶子²(信大理生物¹・松本市²)
- P113 森林昆虫と菌類の共進化：シキミタマバエによる共生菌胞子の採取行動
 ○小舟瞬¹・梶村恒¹・升屋勇人²(名大院生命農・森林保護¹・森林総研²)
- P114 気候温暖化がミナミアオカメムシの腸内共生細菌に与える影響
 ○巴里暢宏¹・菊池義智²・細川貴弘²・Dmitry Musolin³・深津武馬²・藤崎憲治¹(京大院農・昆虫生態¹・産総研・ゲノムファクトリー²・St.Petersburg State University³)
- P115 クヌギカメムシ類の腸内共生系と卵塊上のゼリー状物質
 ○貝和菜穂美¹・細川貴弘²・菊池義智²・深津武馬²(東大院総・広シス¹・産総研・ゲノムファクトリー²)
- P116 カイガラムシ類に共生する細菌類の多様性とその進化的起源に関する解析
 ○松浦優¹²・古賀隆一²・深津武馬²(筑波大・生命環境¹・産総研ゲノムファクトリー²)
- P117 細胞内共生細菌 *Cardinium* および *Wolbachia* と宿主昆虫との相互作用
 ○中村有希¹²・野田博明¹²(生物研¹・東大院新領域²)
- P118 カスリショウジョウバエにおいて母系伝播する内部共生細菌スピロプラズマの水平伝播の可能性
 ○大坂龍¹・野村昌史¹・陰山大輔²(千葉大院園・応用昆虫¹・生物研・昆虫微生物²)
- P119 ツマグロヨコバイの菌組織特異的に発現する遺伝子の探索と機能解析
 ○富澤真¹²・野田博明¹²(東大院・新領域¹・生物研²)
- P120 アブラムシ寄生性タマバエ *Endaphis* sp. の発育
 ○浜口唯衣¹・村井保¹(宇都宮大農・応用昆虫¹)
- P121 The importance of food and host on the fecundity and longevity of a host-feeding parasitoid
 ○劉宏岳¹・上野高敏¹(Fac. Agric., Kyushu Univ.¹)
- P122 寄生蜂 *Chelonus inanitus* の産卵行動における化学的・物理的刺激の役割
 ○新行内隆明¹・戒能洋一¹(筑波大・生命環境¹)
- P123 クワゴヤドリバエ *Exorista sorbillans* の寄主探索行動における植物揮発性物質の役割
 ○田中彩¹・戒能洋一¹・田端純²・杉江元²・一木良子³・中村達³(筑波大・生命環境¹・農環研²・国際農研³)
- P124 保育中に死亡するシロヘリツチカメムシの雌親は子の生存をどう補償するのか？
 ○馬場成実¹・弘中満太郎²・上野高敏¹(九大院・生防研¹・浜松医大・生物²)

- P125 シマハナアブとナミハナアブ（双翅目）、及びマイマイツツハナバチ（膜翅目）の花色に対する学習能力の比較
○深田智之¹・岡島龍太郎¹・香取郁夫¹(近畿大・農¹)
- P126 アオムシヒラタヒメバチにおける鋭敏化と連合学習が雄の雌探索に与える影響
○板谷弘樹¹・上野高敏¹(九大院・生防研¹)
- P127 アメンボ卵寄生蜂の寄主選好性について
○片山潤史¹・貴志学¹・藤崎憲治¹(京大院・農・昆虫生態¹)
- P128 卵寄生蜂における情報操作による子の捕食回避戦略
○北野伸雄¹・馬場成実²・上野高敏²(九大・農・昆虫¹・九大院・生防研²)
- P129 匂い刺激の ON/OFF がコナダニの匂い源への局在化をもたらす
○小嶋健¹・佐久間正幸¹(京大院農・昆虫生理¹)
- P130 カブトムシ幼虫の集合性：分布様式と個体間の反応性
○小島渉¹・中野亮²・石川幸男³・高梨琢磨⁴(東大院農・応用昆虫¹・理研 BSI²・東大院農・応用昆虫³・森林総研⁴)
- P131 ネットアイシマカの宿主探索行動における学習の役割
○黒坂博貴¹・仲島義貴¹(帯広畜産大・昆虫¹)
- P132 フタバシツチカメムシにおける振動を用いた同調的孵化調節の発見
○向井裕美¹・弘中満太郎²・野間口眞太郎¹(佐賀大・農¹・浜松医科大・生物²)
- P133 君が死んで僕がいる ～死んだふりによる捕食回避メカニズム～
○中山慧¹・宮竹貴久¹(岡大院・環境¹)
- P134 カイコ幼虫のイノシトールによる咀嚼運動の修飾メカニズム
○大喜裕二¹・佐々木謙¹・朝岡潔²(金沢工大院・バイオ¹・農生研²)
- P135 *Caenorhabditis japonica* の宿主特異性
○奥村悦子¹・田中龍聖¹・吉賀豊司¹(佐賀大・農¹)
- P136 昆虫病原菌接種下でなぜトビロケアリはアログルーミングを好むのか？
○奥野正樹¹・辻和希²・藤崎憲治¹(京大院・農・昆虫生態¹・琉大・農²)
- P137 モンシロチョウ若齢幼虫の摂食行動
○大森繁¹・長井悠佳里¹・中村圭司¹・田川純¹(岡山理大・総合情報¹)
- P138 ミカンキイロアザミウマの分光感度と各種 LED 光に対する反応
○祖父江順¹・村井保¹・蟻川謙太郎²(宇都宮大農・応用昆虫¹・総研大²)
- P139 ツチバチにおける寄主情報に直接依存しない学習を用いた寄主探索戦略
○谷聡一郎¹・上野高敏¹(九大院・生防研¹)

- P140 ハラヒシバツタオスにおける分断色の緯度クライン: 隠蔽 vs. 体温調節
 ○鶴井香織¹・本間淳²・西田隆義¹(京大院・農・昆虫生態¹・京大院・理・動物行動²)
- P141 特定波長に対するチャバネアオカメムシの光応答反応; 活動リズムと走光性
 ○上原拓也^{1,2}・山口照美²・小滝豊美²・霜田政美²(筑波大・生物資源¹・生物資源研²)
- P142 在来系統シヨクガタマバエの捕食行動の解析
 ○渡部宏¹・矢野栄二¹・中嶋絵里菜¹・桂明宏¹(近畿大院農・昆虫生態制御¹)
- P143 CHC, DNA および生態情報によるクサアリ亜属の系統関係の検証
 ○遠藤真太郎¹・市野隆雄²(信州大院・総工・山岳¹・信州大・理・生物²)
- P144 キイロスズメバチのスーパーコロニーとその適応的意義
 ○村本翔平¹・小野正人¹(玉川大・農・昆虫機能¹)
- P145 ヤマトシロアリの女王の繁殖戦略
 ○中野裕子¹・松浦健二¹(岡大院・環境・昆虫生態¹)
- P146 社会性アブラムシにおける繁殖終了後の自己犠牲的コロニー防衛
 ○植松圭吾¹・沓掛磨也子²・深津武馬²・柴尾晴信¹・嶋田正和¹(東大・総合文化¹・産総研・ゲノムファクトリー²)
- P147 シロアリの女王フェロモンの特定
 ○山本結花¹・日室千尋¹・横井智之¹・松浦健二¹(岡大院・環境・昆虫生態¹)
- P148 ミナミアオカメムシの飛行能力が分布拡大に与える影響
 ○守屋伸生¹・藤崎憲治¹(京大院・農・昆虫生態¹)
- P149 ブチヒゲクロカスミカメの生活史と休眠
 ○田島潤也¹・新谷喜紀¹(南九州大院・園芸昆虫¹)

【P2 会場：学生会員】

- P201 気候温暖化に伴うミナミアオカメムシとアオクサカメムシの生活史の変化
 ○竹田佳都顕¹・Dmitry Musolin²・藤崎憲治¹(京大院・農・昆虫生態¹・St.Petersburg State University²)
- P202 イタドリマダラキジラミの越冬後の産卵
 ○津田宗一郎¹・下山朗²・高木正見¹(九大院農・天敵昆虫¹・西部ガス²)
- P203 モンシロチョウにおける *pierisin-1* の発現と活性化に細菌感染が与える影響
 ○堀内 悠¹・中口(高橋) 梓²・戸塚ゆ加里²・岩淵喜久男¹・杉村隆²・若林敬二²(農工大・応用昆虫¹・国立がんセンター研究所²)

- P204 カブトムシ脂肪体初代移植片培養における性差の影響
○緒方法親¹・渡辺賢太¹・岩淵喜久男¹(東京農工大院農・応用昆虫¹)
- P205 卵—幼虫寄生蜂 *Chelonus inanitus* の配偶行動と性フェロモンの存在
○桜井健太¹・戒能洋一¹(筑波大・応動昆¹)
- P206 吸汁関連遺伝子としての OBP の検討
○松本宜晃¹・小泉蓉子²・佐藤友紀²・野田博明¹²(東大院・新領域先端生命¹・生物研²)
- P207 ガ類性フェロモン腺由来の FATPs の解析
○銭曙光¹・藤井毅¹・石川幸男¹(東大院農・応用昆虫¹)
- P208 ショウジョウバエにおける ecdysone 生合成経路 Black Box 内の中間体の解析
○浅倉一洋¹・西田律夫¹・小野肇¹(京大院農・化学生態学¹)
- P209 ローデシアマメゾウムシ (*Callosobruchus rhodesianus*) の Contact sex pheromone に関する研究
○松井晋平¹・下村健司¹・石川晋¹・矢嶋俊介¹・大澤貫寿¹(東農大・応用生物学¹)
- P210 クロゴキブリ雄背面フェロモン腺分泌物の化学組成
○中曾根洋一¹・小野肇¹・西田律夫¹(京大院・農¹)
- P211 直交障壁板式昆虫誘引器への hydroxyhexanone 異性体混合物付加によるカミキリムシ誘引性能の向上
○佐藤茂幸¹・岩田隆太郎¹・西尾俊幸¹・井上大成²(日大生物資源¹・森林総研多摩²)
- P212 チャバネゴキブリ雌体表の性フェロモン構成成分の地理的変異
○菅正剛¹・勝又綾子¹・小野肇¹・森直樹¹・西田律夫¹・Schal Coby²・Schulz Stefan³・Lee Chow Yang⁴(京大院農・化学生態¹・ノースカロライナ州立大²・ドイツ有機化学研³・マレーシア理科大⁴)
- P213 近縁種ミツモンキンウワバとイチジクキンウワバにおける生殖隔離機構
○高橋亜由美¹・野村昌史¹・杉江元²・田端純²(千大院園・応用昆虫¹・農環研²)
- P214 *Bactrocera* 属ミバエ類直腸フェロモン腺成分の同定
○徳島勇生¹・西田律夫¹・Orankanok Watchreeporn²・Tan Keng Hong³(京大院・農¹・Dept. Agric. Ext. Bangkok²・Phi Biotech Sdn., Malaysia³)
- P215 ミナミキイロアザミウマの合成ピレスロイド剤抵抗性機構について
○包文学¹・伊藤政雄²・村井保³・奈良井祐隆⁴・園田昌司¹(岡山大・資生研¹・高知農技セ²・宇都宮大・応昆³・島根農技セ⁴)
- P216 ハモグリバエ類の寄生バチの薬剤感受性とエステラーゼ活性
○松田健太郎¹・田上陽介¹・西東力¹(静大農・応用昆虫¹)
- P217 植物二次代謝成分変化からのツマグロヨコバイ抵抗性遺伝子の機能解明の試み
○廣瀬正和¹・田中久美子¹・吉井三賀¹・安井秀²・金哲史¹(高知大農¹・九大院農²)

- P218 ダイズアブラムシに対する抵抗性の評価
○小林政文¹・村井保¹(東京農工大連合大学院¹)
- P219 ワタアブラムシの寄主転換に関する化学生態学的研究
○吉井三賀¹・西野華菜¹・岩本恒平¹・田中久美子¹・廣瀬正和¹・金哲史¹(高知大農¹)
- P220 ハマキコウラコマユバチの人工培地中での発育
○赤坂泰基¹・戒能洋一¹・中原雄一²(筑波大・生命環境¹・帝京大・医²)
- P221 ベトナム産ハスモンヨトウより分離された微孢子虫株の宿主特異性
○川上紗代子¹・井上俊英¹・畠山吉則¹・Tran Van Hai²・岩野秀俊¹(日大生物資源¹・CANTHO Univ²)
- P222 日本の土壌から分離された *Metarhizium* 属糸状菌の EF-1 α 遺伝子による系統解析
○西大海¹・飯山和弘²・青木智佐²・清水進²(九大院生資環¹・九大院農²)
- P223 核多角体病ウイルスに対するチャノコカクモンハマキ抵抗性機構の解明
○田中薫¹・国見裕久¹・平尾綾子¹・仲井まどか¹ (農工大院・農¹)
- P224 ブランコヤドリバエの寄主加害植物に対する選好
○羽生和史¹・戒能洋一¹・一木良子²・中村達²(筑波大・生命環境¹・国際農研²)
- P225 チャノコカクモンハマキ病死体から分離された顆粒病ウイルス包埋体形態異常変異株の全ゲノム解析
○引原翔平¹・国見裕久¹・宇久田理恵¹・平尾綾子¹・仲井まどか¹(農工大院・農¹)
- P226 イエバエに寄生する土着寄生蜂ハエヤドリコガネコバチの増殖における加熱処理寄主の有効性
○小川浩平¹・荒川良¹(高知大・農・昆虫¹)
- P227 オオメカメムシの飼育個体群と野外個体群の遺伝的多様性比較
○岡田瑤子¹・野村昌史¹・大井田寛¹²(千葉大院園・応用昆虫¹・千葉農林総研²)
- P228 エルビアブラバチの寄主探索行動に誘引成分と寄主密度が及ぼす影響
○宍戸真記¹・中村晴美¹・仲島義貴¹(帯広畜産大・昆虫¹)
- P229 アブラムシ甘露に含まれる糖がショクガタマバエ成虫寿命に与える影響
○杉山良平¹・遠藤拓也¹・矢野栄二¹・片山昇²(近畿大・農¹・京大生態研²)
- P230 ヒエノアブラムシを餌とするショクガタマバエの発育、産卵、増殖に及ぼす温度の影響
○豊西宏章¹(近大・農¹)
- P231 ハスモンヨトウ (*Spodoptera litura*) 幼虫の核多角体病ウイルス感染がワタノメイガコウラコマユバチ (*Chelonus inanitus*) の生存に及ぼす影響
○牛木圭介¹・国見裕久¹・平尾綾子¹・仲井まどか¹(農工大院・農¹)

- P232 在来シヨクガタマバエの休眠とその制御
○山根雅史¹・矢野栄二¹・藪下俊信¹(近畿大・農¹)
- P233 *Aphelinus varipes* の発育および寄生能力
○八島圭佑¹・村井保¹(農工大連大院・生物制御¹)
- P234 LED 照明技術を利用したオオタバコガの飛翔行動抑制効果
○尹丁梵¹・野村昌史¹・石倉聡²(千葉大院園・応用昆虫¹・広島総研²)
- P235 複合交信攪乱剤を施用したレタス圃場で発生したキンウワバ 7 種について
○橋山葵¹・野村昌史¹・中牟田潔¹・栗原潤²・豊嶋悟郎²(千葉大院園・応用昆虫¹・長野野菜花き試²)
- P236 タバココナジラミバイオタイプ B が引き起こす着色異常の発現機構
○増田健太¹・加藤雅也²・田上陽介¹・西東力¹(静大院農・応用昆虫¹・静大農・ポストハーベスト²)
- P237 合成道標フェロモンと毒餌剤の併用による侵略的外来アリの IPM
○砂村栄力¹・鈴木俊¹・西末浩司¹・坂本洋典²・内海與三郎³・福本毅彦⁴・寺山守¹・田付貞洋¹(東大・応用昆虫¹・北大地球環境²・アース・バイオケミカル³・信越化学⁴)
- P238 蝶類を用いた都市域緑地の環境評価
○樋口久子¹・遊磨正秀¹(龍谷大院・環境¹)
- P239 同所的に咲く植物がオランダイチゴの訪花昆虫相と結実に与える影響
○西川拓也¹・西口裕三¹・香取郁夫¹(近大農・昆虫生態制御¹)
- P240 ブナハバチの捕食寄生蜂の探索と図解検索表作成
○渡辺恭平¹・谷脇徹²(東農大院農・昆虫¹・神奈川県自環保セ²)
- P241 *Tetranychus* 属ハダニにおける DNA 塩基配列による系統関係の推定
○福本千尋¹・日本典秀²・北嶋康樹¹・後藤哲雄¹(茨城大・農・応動昆¹・生物研²)
- P242 *Oligonychus* 属ハダニの形態および DNA 塩基配列による系統解析
○松田朋子¹・日本典秀²・北嶋康樹¹・後藤哲雄¹(茨城大・農・応動昆¹・生物研²)
- P243 Preliminary survey of spider mite fauna in Bangladesh
○Md. Ahsanul HAQUE¹・Yasuki KITASHIMA¹・Mohammad Shaef ULLAH¹・Tetsuo GOTOH¹ (Fac. of Agr., Ibaraki Univ. ¹)
- P244 イシイナミハダニの生活史特性
○守矢大介¹・北嶋康樹¹・後藤哲雄¹(茨城大・農・応動昆¹)
- P245 ナミハダニにおけるスピロジクロフェンとスピロメシフェンの交差抵抗性
○荘司翼¹・北嶋康樹¹・後藤哲雄¹(茨城大・農・応動昆¹)

- P246 Demographic parameters of *Tetranychus kanzawai* (Acari: Tetranychidae) at different temperatures
 ○Mohammad Shaef ULLAH¹・Daisuke MORIYA¹・Yasuki KITASHIMA¹・Tetsuo GOTOH¹ (Fac. of Agr., Ibaraki Univ. ¹)
- P247 ハダニに感染する共生微生物 *Cardinium* が生殖に及ぼす影響
 ○吉岡主税¹・北嶋康樹¹・野田博明²・後藤哲雄¹(茨城大・農・応動昆¹・農業生物資源研究所²)
- P248 イネおよびイヌホタルイ香気中のアカスジカスミカメ誘引物質に関する研究
 ○生田目雅之¹・堀雅敏¹(東北大院農・生物制御¹)
- P249 発生源の分断化はアカスジカスミカメの密度を低下させるか？
 ○吉岡明良¹・高田まゆら²・鷲谷いづみ¹(東大・農¹・帯広畜産大²)

【P3 会場：正会員】

- P301 明暗周期・温度周期の位相関係とふ化・羽化時刻
 ○新井哲夫¹(山口県立大・環境生態学¹)
- P302 水田に発生する主要な節足動物の農法間比較 3. 減農薬・減化学肥料、有機および慣行栽培水田の違い
 ○西城洋¹・森本信生¹(農研機構・中央農研¹)
- P303 チャバネアオカメムシ類における腸内共生細菌の地域間および地域内多型
 ○細川貴弘¹・深津武馬¹(産総研・ゲノムファクトリー¹)
- P304 チャバネアオカメムシ共生菌のゲノム解析とその細胞表層構成分子の生合成遺伝子の比較解析
 ○小林秀昭¹・竹石桂一²・藤井理香²・野田博明²(日大薬・ゲノム創薬学¹・農業生物資源研究所²)
- P305 ダンダラテントウの種内変異解析と生殖操作に関わる共生微生物の探索
 押見真希恵²・○野村昌史¹(千葉大院園・応用昆虫¹・千葉大園・応用昆虫²)
- P306 コナガサムライコマユバチのワックスレス型キャベツ品種と普通型品種における寄生率の違い
 ○高篠賢二¹・榊原充隆¹(農研機構・東北農研¹)
- P307 潜葉虫ネズミモチクロソガの葉内における潜葉場所選択と植物特性との関係
 ○綾部慈子¹(名大・森林保護¹)
- P308 アズキゾウムシにおけるメスの再交尾の人為選択に対する相関反応
 ○原野智広¹(九大院理・生態科学¹)

- P309 分割照射を用いたゾウムシ不妊虫パフォーマンスの向上
○熊野了州¹²・栗和田隆¹²・城本啓子¹²・原口大¹・小濱継雄³(沖縄県病害虫防除技術センター¹・琉球産経株式会社²・沖縄県農業研究センター³)
- P310 カシノナガキクイムシ雌による雄誘導バズ音の細部構造
○大谷英児¹・所雅彦¹(森林総研¹)
- P311 オオツノコクヌストモドキにおける複数の誇張形質の可塑性
○岡田賢祐¹・宮竹貴久¹(岡大院・環境・進化生態¹)
- P312 アオオビハエトリによるアルゼンチンアリの迅速な捕食行動
○坂本洋典¹・馬場友希²・砂村栄力³・鈴木俊³・東正剛¹(北大・地球環境¹・農環研²・東大院農・応用昆虫³)
- P313 クリ園周囲の森林におけるクリシギゾウムシの生態
○檜垣守男¹・井原史雄¹・外山晶敏¹・三代浩二¹(果樹研つくば¹)
- P314 絶滅危惧種イスマナガゴミムシ *Pterostichus (Nialoe) isumiensis* (甲虫目:オサムシ科) の特異な産卵習性とその保全生物学的意義
○笹川幸治¹(東大院・広域¹)
- P315 キクスイカミキリ幼虫の量的短日型光周反応の適応的意義
○新谷喜紀¹(南九州大院・園芸昆虫¹)
- P316 アワノメイガ類の性フェロモン受容体遺伝子のクローニングと機能解析
○三浦奈美¹・中川龍郎²・東原和成³・石川幸男¹(東大院農・応用昆虫¹・東大院新領域・分子認識化学²・東大院農・生物化学³)
- P317 性フェロモンの被露によってアリモドキゾウムシの配偶行動は変化するか
○栗和田隆¹²・熊野了州¹²・城本啓子¹²・原口大¹(沖縄防技セ¹・琉球産経²)
- P318 オカボノクロアブラムシのアキニレにおけるゴール形成
○手林慎一¹・下神晴可¹・金哲史¹・及川彰²・斉藤和季²³(高知大・農¹・理研P S C²・千葉大院・薬³)
- P319 菌床シイタケ害虫ナガマドキノコバエの性フェロモンは磯臭い
○所雅彦¹・北島博¹・加藤厚²・菱山正二郎²(森林総研・森林昆虫¹・森林総研・バイオマス化学²)
- P320 ミナミキイロアザミウマ *Thrips palmi* におけるスピノサド抵抗性の遺伝様式
○奈良井祐隆¹・園田昌司²・伊藤政雄³(島根農技セ¹・岡山大・資生研²・高知農技セ³)
- P321 モデル実験植物シロイヌナズナを用いた植物—害虫間相互作用研究
○安部洋¹・立石剣²・下田武志³・服部誠²・釘宮聡一⁴・大西純⁵・瀬尾茂美²・今野浩太郎²・富高保弘³・津田新哉³・小林正智¹(理研バイオリソースセンター¹・生物研²・中央農研³・農環研⁴・野茶研⁵)

- P322 紫外線照射による原虫の不活化の有用性
○嶋田名利子¹・原口大¹・熊野了州²・栗和田隆²・城本啓子²(沖縄防除セ¹・沖縄防除セ 琉球産経²)
- P323 収穫後のダイズを餌に用いるマメシクイガの人工飼育
○山代千加子¹(新潟農総研・作物研¹)
- P324 スギ雄花生産量と誘殺数を変数とした重回帰式による翌年のチャバネアオカメムシ越冬後成虫の発生予測
○大谷徹¹・河名利幸¹・三平東作¹(千葉農林総研¹)
- P325 チャバネアオカメムシのフェロモントラップ誘殺数に影響を及ぼす景観構造
○滝久智¹・田淵研²・飯島勇人³・岡部貴美子¹(森林総研¹・中央農研²・山梨森林研³)
- P326 MabRNPV 試作製剤中の GV 顆粒体成分添加濃度と圃場における殺虫効果
○後藤千枝¹・務川重之¹・光永貴之¹・西城洋¹(中央農研センター¹)
- P327 サクサン核多角体病ウイルスの全ゲノム解読と他の分離株との比較
津田恵宏¹・Huang Yuan Jiao²・光武宏¹・板倉真¹・王学英³・○小林淳¹(山口大農・分子昆虫¹・広西医科大²・瀋陽農大³)
- P328 チャ園におけるケナガカブリダニ個体群構造の解析
○日本典秀¹・富所康広²・檜垣智美¹(生物研¹・三重農研・茶業研究室²)
- P329 ホウレンソウケナガコナダニを捕食する土着天敵トゲダニの探索
○齊藤美樹¹(道立上川農試¹)
- P330 茨城県内の施設栽培ピーマンで発生しているタバココナジラミのバイオタイプの検定と有効な薬剤の選定
○星野真西¹・鹿島哲郎¹・富田恭範¹(茨城農総セ園研¹)
- P331 アリモドキゾウムシの色彩多型を用いたマーキング法の可能性—分散能力について—
○城本啓子¹²・熊野了州¹²・栗和田隆¹²・原口大¹(沖縄病害虫防技セ¹・琉球産経²)
- P332 マツノマダラカミキリ成虫駆除剤(ボーベリア製剤)の設定条件による駆除効果
○杉本博之¹(山口農林総セ・林業¹)
- P333 宮城県における有効積算温量を利用したアカスジカスミカメの発生時期予測
○鈴木智貴¹・加進丈二¹・小野亨¹(宮城古川農試¹)